



担当=DZHフィナンシャルリサーチ・石原敬子

Refinitiv(リフィニティブ)はロンドン証券取引所グループ(LSEG)傘下の金融情報提供会社です

知りたい
投信 なるほど
リッパー

9月までの運用成績

IT株と中小型株の運用が好調

国内で販売されている株式オープン投信について、2021年9月末時点における運用成績を集計しました。リッパーによる投資対象別では、コロナ禍から回復する経済を反映してか、長期(5年)、短期(6カ月)ともに、主要な分類のほとんどが値上がりしています=グラフ。

ですが、全般的に直近6カ月の運用成績が低下しています。また、グラフにはありませんが、ブラジルやトルコな

ど新興国の一部の株式や債券で運用する投信は、長期の騰落率もマイナスです。足元の運用状況や今後の運用方針について、保有する投信の月次レポートなどで確認してみると良いでしょう。

個別の投信では、情報テクノロジー(IT)関連株と中小型株で運用する投信の成績が好調でした=表。1位の「企業価値成長小型株ファンド」と5位の「DIAM新興市場日本株ファンド」は中小

■運用成績トップ5 (2021年9月末までの5年間)

順位	ファンド名	騰落率(%)
1	企業価値成長小型株ファンド(アセットマネジメントOne) = 申込受付を停止中	326.78
2	グローバルAIファンド(三井住友DS)	279.18
3	野村世界業種別投資シリーズ(世界半導体株投資)	265.74
4	USテクノロジー・イノベーターズ・ファンド(三井住友DS)	262.00
5	DIAM新興市場日本株ファンド(アセットマネジメントOne) = 申込受付を停止中	261.93

騰落率は分配金(税引き前)を再投資したとして計算。純資産残高が10億円以上のオープン投信で、上場投資信託(ETF)とオルタナティブ型を除く

型株の投信です。どちらも申し込み受付を停止中。「好調なのに、なぜ買えないの?」と思いますよね。

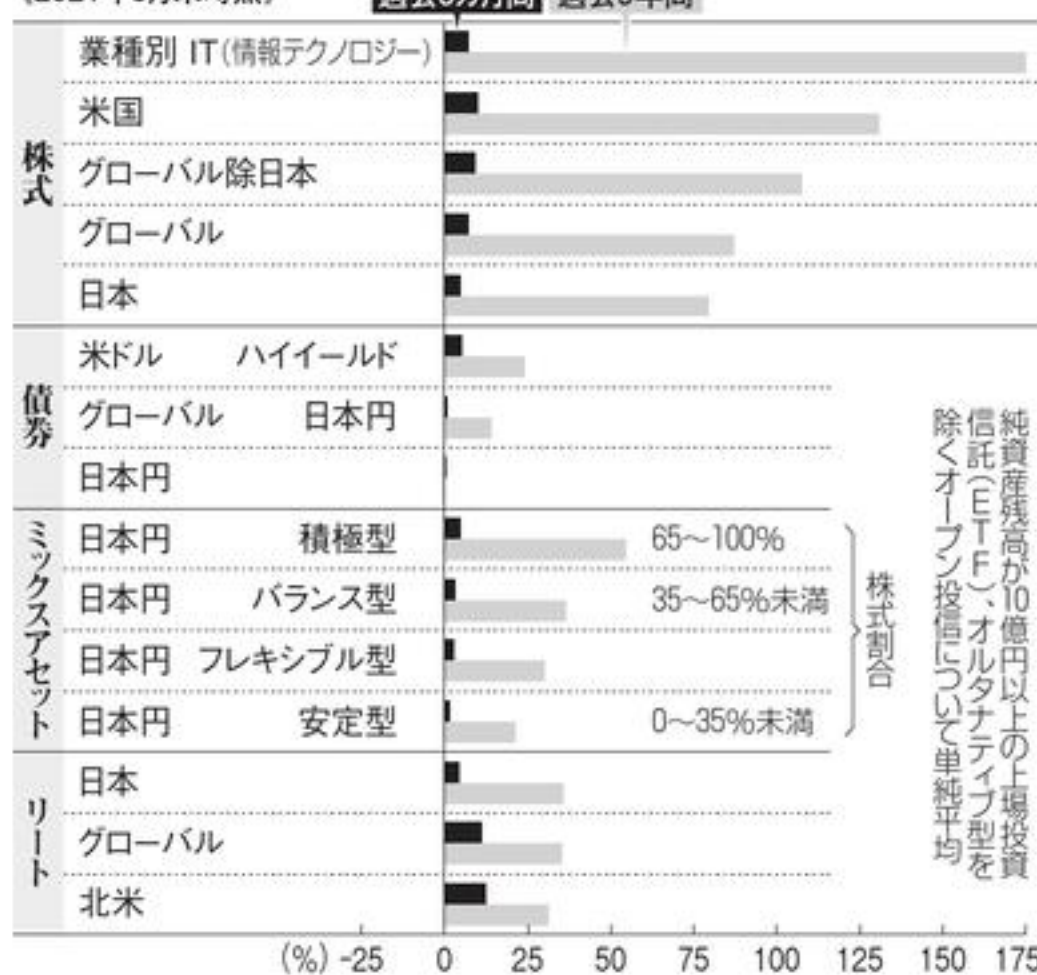
中型や小型とは、株式の規模を指し、発行済み株式数や時価総額が小さめ、という意味です。多額の資金で買いつ

けると、株価がつり上がってしまいます。それを避けるため、この二つの投信は、運用会社が純資産総額に上限を設けています。現在はその上限に達しているため、新規の購入ができないようになっているのです。

投信主要分類別の平均騰落率

(2021年9月末時点)

騰落率= 分配金(税引き前)を再投資したとして計算



純資産残高が10億円以上の上場投資信託(ETF)、オルタナティブ型を除くオープン投信について単純平均